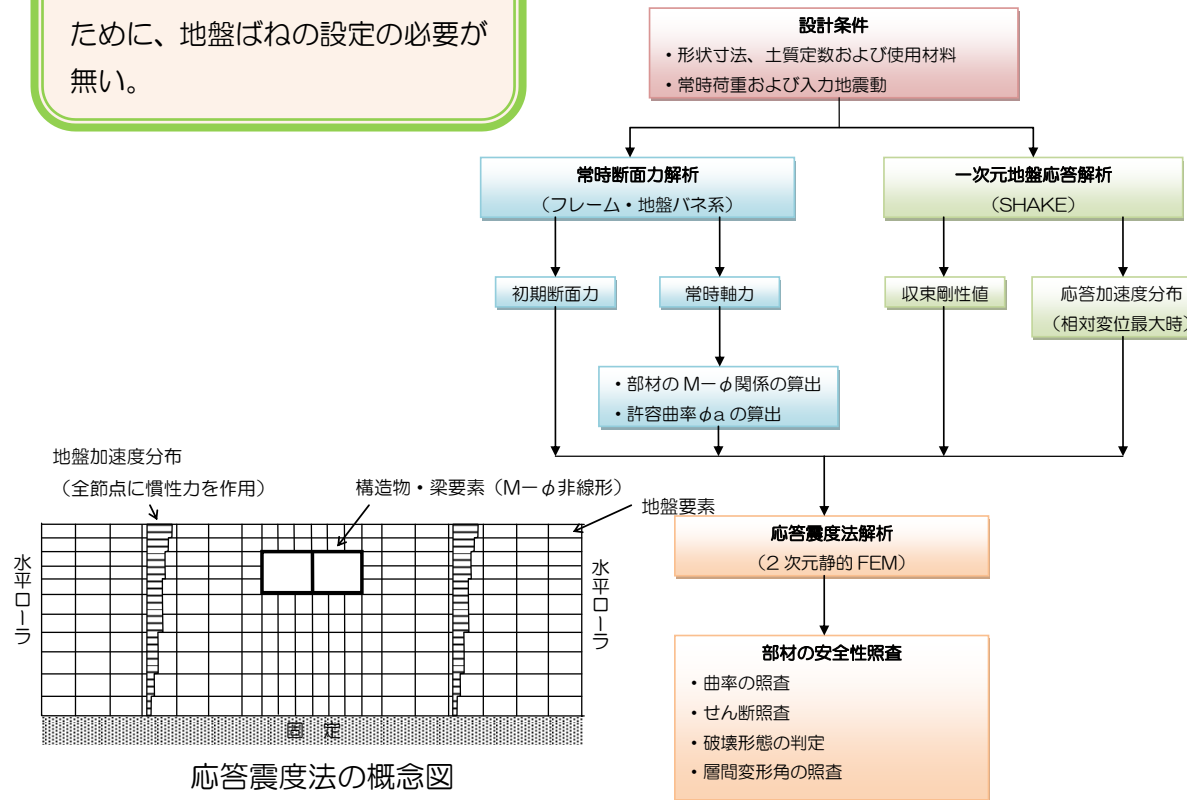


応答震度法を用いた地下構造物の耐震解析および安全性照査

<応答震度法のメリット>

地盤を平面要素でモデル化するために、地盤ばねの設定の必要が無い。

応答震度法の解析フロー



■ 特徴

○ 応答震度法のメリット

・地盤を平面要素でモデル化するために、地盤ばねの設定の必要が無い。

(応答変位法は、各種の設計指針で推奨されている方法ですが、地盤ばね定数の設定に任意性があることや複雑な形状を有する構造物に適用が難しい場合がある)

■ 応答変位法・応答震度法

・地下鉄や地下道路トンネルなどの地下構造物は、地中内部に構造物が設置されるために、耐震診断において構造物と地盤の相互作用を精度良くモデル化する必要があります。

そのために用いられる静的な耐震解析手法。

■ 対象

○地下構造物 (地下鉄、地下道路トンネル等)